山崎さん「防衛省も、警察も、住民を守らない」

住民置き去り、米軍レーダー基地建設を許さない市民大集会に４５０人

・２３日、丹後文化会館

６月２３日、『住民置き去り、米軍レーダー基地建設を許さない市民大集会』が「府民の会」「丹後連絡会」「宇川憂う有志の会」の三者の共催で丹後文化会館で開催され、平日の夜にも関わらず４５０人が参加しました。集会では、丹後連絡会の岩崎晃代表が「きょうは沖縄平和慰霊祭、小学３年生が戦争のない平和を願う詩を読んだ。子や孫のために、青い空のもとで平和を！。声高らかにがんばろう」と開会のあいさつ。憂う有志の会の三野みつる代表は、５点にわたり、米軍基地建設の現況を報告（別掲）。米軍基地のある横須賀市で米兵に妻を殺害された山崎正則さんが、報道ビデオの上映後に「隣り合う米兵犯罪の危険」と題し講演（要旨は裏面）。「米軍基地ができれば、必ず犯罪が起こり、防衛省も、警察も、被害者を守ってくれない」と訴えました。平林智江美・日本共産党京丹後市会議員は、６日に行われた防衛省交渉について「住民の要求・要望がたくさん届いているのに、防衛省は知らん顔をしている」と報告。最後に、丹後連絡会の近江事務局長が、①山崎さんのお話のカクサン（拡散）を、②引き続き署名の推進を、③連絡会への加入を、と訴え「あきらめずたたかおう」と閉会のあいさつをしました。

■三野みつる代表の米軍基地の現況報告

①安保条約・地位協定をなくすたたかいを

５月26日午後1時、米軍による一方的な発表により27日に強引に工事が着工された。府も京丹後市もコケにされたのに抗議も怒りもしない。この国はどこの国か、植民地なのか。住民の安全・安心はどこにいったのか。沖縄に見られるように日米安保条約・地位協定をなくす必要性を肌で感じた。

②工事着工後、毎日続く不安

4ヘクタールの広大な土地へ、狭く、カーブの多い道を大型車が行き交う。市の連絡調整室は「米軍でなく、自衛隊車輌だ」という。我々の税金を使い府警の車も24時間行ったり来たりしている。軍人・軍属が峰山のホテルに宿泊するといわれている。おっかない毎日が続いている。

③レーダーで日本は守ってもらえない

過半数の地域住民の反対署名を集めた。積極的賛成者はいない。市長は「国防のためやむをえない」というが、今年の2月、米の国防総省は「米国本土を守るためのレーダー」とはっきり言っている。レーダーで日本は守ってもらえない。

④防衛局も、京丹後市も、住民の安全・安心に答えられず

昨日、近畿中部防衛局は、私たちの30項目の要求に文書回答ではなく、口頭で回答した。「書いてあるものを読んでいるなら、それをください」というと担当者は、「直接対面し,伝えて責任を果たしている」という。安全・安心の問題も「答えられない、米軍に配慮するよう申し入れ、理解いただいている」と。京丹後市も肝心の所は、「答える立場にない」という。防衛省は私たち、住民を守らない。疲れとむなしさが残った。

⑤集団的自衛権の行使で、「標的の丹後」に

全国の基地を取材している新聞記者が言われるには、テロから狙われたら、お墓と海が近いこの場所は攻撃の標的となる。緊張が高まれば国道も封鎖される。基地は、今すぐ撤去してほしい。集団的自衛権の行使で、この地が標的となる。

永いおつきあいと御協力をお願いしたい。

・発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：京都に米軍基地いらない府民の会）
連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話 075-801-2308 FAX 075-812-4149

■山崎正則さんの講演

「隣り合う米兵の犯罪」（要旨）

・京都の町には、英文の文字が少ないことに驚いた。基地をつくれば終わりです。

・私の妻は、2006年の早朝に駅に向かう途中、空母キティホークの米船員が前日から酒を飲み、金がなくなったことから1万5千円を盗むために殴る蹴るの暴行を受け、肋骨を6本折られ、内蔵まで突き刺さり殺害された。米兵は、1月に裁判され、3月に判決で無期懲役となり、刑務所に入っている。

・防衛省は、被害者に寄りそうことはない。相手が保険に入っていたらの話で、ほとんど米兵は保険に入っていない。結局、防衛省は、なだめすかして、裁判を起させないようにする。私も未だに補償されていない。軍属といえど、米の軍隊と同様に教育を受ける。

・多くの方は、自分に事件や事故は起こらないと思っている。「地位協定」は平等ではない。政府は「見直し」というが、米国は安保条約がある限り、変えようとはしない。日本政府に責任はないのか。米兵の「公務中」は日本の責任というが、裁判権は米国にある。「公務外」は、米兵個人の責任となり、多くは逮捕されても仮釈放となって、基地へ逃げ込み、被害者はほとんど「泣き寝入り」となる。

・この2年間で、日本人3名が殺され、飲み屋の経営者が、軍属に傷害致死で殺されたが、軍属は執行猶予となっている。現在、妻を殺害した米兵とタクシー運転手を即死させた2名が刑務所にいる。同じ刑務所にいても、日本人との扱いの違いには唖然とする。米兵は、1日6千㌍の食事で、和・洋食のどちらでも選択できる。ステーキも出る。差し入れもある。スポーツで身体を鍛えることもでき、また、独房というより、シャワー付の個室だ。これでは、犯罪は減らない。

・私の場合、地裁では、米軍の管理・監督責任が認められたが、高裁では、米軍の管理・監督は「日本を守るためではない」とし、最高裁でも棄却された。

・事件や・事故が起これば、警察は、米兵の所属・名前を把握するだけで、「やってもムダ」と裁判で被害者が立ち上がれないように圧力をかけてくる。基地をつくっても、何もよくならない。

・私たちは、米兵を殺しましたか？　市長は、米国や防衛省へ一緒に交渉へ行ってくれるとは思えない。しかし一緒にたたかってくれる人はいっぱいいます。基地をつくってしまえば終わりです。

安倍内閣による

集団的自衛権行使容認を許さない

守れ9条の平和主義

緊急行動

7月3日（木）午後6時30分～　市役所前　街頭演説会後、四条河原町までデモ

主催：集団的自衛権行使容認反対　7.3実行委員会